

生徒・顧問・保護者の皆様へ

全国高等学校総合体育大会（インターハイ）を目指し、その予選である高体連支部大会及び全道大会に向けて準備を進め、日々努力を重ねてきた生徒の皆さん、日頃から熱心にご指導いただいております顧問・部活動指導員の方々、子どもたちの成長を見守り様々なご支援をいただいている保護者の皆様にお伝えします。

新型コロナウイルス感染症が拡大し世界的に猛威を振るっている現在、北海道においても日々感染者が増加するなど、感染拡大の収束には相当な時間がかかると予測されます。

高体連支部大会・全道大会は、日頃の厳しい練習成果を発表する場であり、併せて上位大会へ繋がる場、相手を尊重しながら競い合う場であります。その大会を中止することは、その奥に大きな目標を失った選手の悲しみや悔しさがあることは痛いほどわかります。

しかし、今回の決定は、皆さんの競技人生を奪うことではなく、皆さんを含む大会に携わるすべての人たちの命を守ることを選んだ結果であります。大会を行うには安全安心が確保された大会でなければならないと思っています。

これまで皆さんが仲間とともに汗と涙を流し努力してきたことや礼節を含め人間形成に努力してきたことは決して無駄ではなく、生涯にわたって必要なスキルであったと思っています。だからこそ次のステップに向けて競技は継続してほしいと願っています。残念ながら競技を辞めざるを得ない人には、これまで培った経験を生かして今後の学校生活を含め進路実現に向けて努力を継続してほしいと思います。

また、支部大会・全道大会に代わる大会も模索しましたが、中止の4条件が改善される見通しが無い中で期待を持たせることは、3年生の進路にも影響を及ぼすことから北海道高体連として実施しないこととしました。

部活動は、体力や技能の向上を図る目的以外にも異年齢との交流の中で、生徒同士や生徒と顧問との好ましい人間関係の構築を図ったり、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感などを醸成する多様な学びの場でもあります。

さらに、部活動の経験を生かして、生涯を通じてスポーツに親しみ、豊かで活力のある生活を送ってほしいと願っています。

結びに、新型コロナウイルス感染症に対して、まず自分を守ること。そして、他人を守るために不要不急な外出を避け、マスクの着用や手洗いなど自他の命を守る行動を引き続きお願いいたします。

令和2年5月1日

北海道高等学校体育連盟

会長 平野 雅嗣